

紀南病院の研修レポート

2016年10月14日 Y Y様

1. はじめに

入所後間もなく、紀南病院の研修のご案内を頂き、今後、病院経営の
監査・調査を行っていく上で有益な機会と考えて当日に臨みました。

前日（10月3日）、ホテルのロビーで研修参加者のお二人と事務局の
小松さんとお会いして、院内研修は事務所としての初めての試みであり、
紀南病院の研修は今週のみであることを知らされたので、少し驚くと同
時に何かの成果を持って帰ると身を引き締めて参加いたしました。

2. 研修1日目（10月4日）

（実施した研修内容）

- ・ 9:00～事務局清水氏面会、仲事業部長、森本医師、廣畑看護部長挨拶
- ・ 9:15～オリエンテーション（廣畑看護部長、森本医師）

- ・ 10:00～院内視察（森本医師、廣畑看護部長）
- ・ 11:00～医療安全、感染対策室レクチャー（庄司看護師長、根本氏）
- ・ 13:00～きなん苑（老人保健施設）（畑野副施設長、辻原看護師長）
- ・ 14:40～地域連携室（金井室長）
- ・ 14:15～へき地（神島医療体験談）（奥野へき地医療総括監）

（気づき事項）

・ オリエンテーションでは廣畑看護部長からスクリーンで説明を受けたが、その中で旧館病棟の耐震性と設備予算の問題、少子高齢化に向けた患者対策、病床管理、看護師不足の緊急性を感じました。

・ 院内視察では森本医師から担当医師、看護師及び患者に丁寧にご紹介して頂き、初日から親近感を持って接して頂けたことが印象的でした。

・ きなん苑では看護師の老人患者への温かい接し方に感服し、看護師の方々のチームワークを感じました。

・ 地域連携室ではへき地医療、院外の地域連携の緊急対応、ドクターへの配置、連携プレーの必要性を感じました。

・ 時間外で奥野医師から神島での3回に渡る計17年間のへき地医療に

ついてビデオ映像で説明を受けた。島員から医者屋さんと呼ばれ、親しまれ頼られる医師であり、島員から自然と一緒に暮らすことの意義や緊急時のチームワーク等多くのことを学ばれた実体験をわかりやすく説明して頂き、へき地医療の厳しさと後継者の必要性を感じました。

3. 研修2日目（10月5日）

（実施した研修内容）

- ・ 9:00～HCU（大威室長）
- ・ 11:00～透析室（下川室長）
- ・ 13:00～須崎院長と面談
- ・ 13:30～薬剤師レクチャー（中島薬剤部長）
- ・ 14:00～AED体験（森本医師）
- ・ 15:00～回復期リハビリテーション（東作業療法士）

（気づき事項）

- ・ HCU 室では看護体験を通じて重病患者への看護師の緊張感、5名の看護師の三交代制の業務負担を痛感しました。

- ・透析室では森本医師から透析方法の説明を受け、下川室長から4時間の透析集中管理体制を伺って患者ごとの透析を知ることができました。

- ・須崎医院からは会計士の目線で今回の研修プログラムを受けて、最終日に感想の意見交換を期待されました。

- ・薬剤保管室では毒薬管理、ヘロイン管理、薬剤のIT管理について説明を受け、セキュリティ管理、患者別の薬剤調合について学んだ。

- ・森本医師から急遽AED体験を提案され、蘇生方法について実践体験を通じてAED方法について学べて良かった。

- ・回復期リハビリテーションでは東作業療法士から回復期患者のリハビリ方法について回復期リハビリテーション室を巡回して概説を受けた。

4. 研修3日目（10月6日）

（実施した研修内容）

- ・9:00～リハビリテーション（PT 津呂橋理学療法士、OT 筒井作業療法士、ST 輪野言語療法士）

- ・13:00～浅里診療所（へき地医療体験）（森本医師）

・ 15:00～病院経営に関するグループワーク（院長、森本医師、廣畑看護部長、他担当者5名）、終了証書の院長から授与

（気づき事項）

・ リハビリテーション病棟を巡回して1時間毎に、PT、OT、ST 各担当療法士から歩行患者に同行して世間話の体験、日常生活に復帰するための手作業の療法状況及び音読療法の状況を視察した。各リハビリの実践現場を体験・視察することによって担当療法士の患者への親切な対応に感服すると同時に、高齢者へのケアの難しさを知ることができた。

・ 浅里診療所に森本医師に同行して、浅里の患者と雑談することによって、採算性を度外視したへき地医療の必要性を感じた。

・ 病院経営に関するグループワークでは森本医師がファシリテーターとして、研修参加者の自己紹介と研修プログラムでの感想を発表して、その中で話題となった以下の項目について意見交換をした。

- ・ 診療報酬の加点制度とコスト管理
- ・ 看護師の業務分担（アサインメント）の適正化
- ・ 医師、看護師等の病院目標への同方向性の意識

- ・ IT 活用と看護師の職務軽減のバランス
- ・ リハビリテーションの一体運営
- ・ 看護師の不足、業務の見直し及び業務の効率化

5. おわりに

今回の研修に参加して、森本医師始め、担当された看護師、療法士の皆様にはご多忙にも拘らず、懇切丁寧にご説明、ご対応して頂いたことに大変感謝しております。良かった点としては、一貫した院内研修プログラムであったために、一度に院内事情に精通できたこと、特にへき地医療の抱える問題、損益度外視した医療、地域緊急対応、へき地患者への行政区画医療体制の弊害（近くの県外病院より遠い県内病院へ）、看護師の業務効率化（HCU 室の看護師の負担軽減化）、診療報酬加点制度への偏重、IT 活用と業務量負担軽減化、病床の有効利用等、現場を見ることによって、我々会計士に期待される今後の病院経営に関する関わり方を知ることができたと感じております。ありがとうございました。

以上